

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	阿南工業高等専門学校
設置者名	独立行政法人国立高等専門学校機構

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
	創造技術工学科 (機械コース)				10	10	7	
	創造技術工学科 (電気コース)				7	7	7	
	創造技術工学科 (情報コース)				7	7	7	
	創造技術工学科 (建設コース)				14	14	7	
	創造技術工学科 (化学コース)				24	24	7	
	創造技術システム工学専攻(機械システムコース)			9	2	11	7	
	創造技術システム工学専攻(電気電子情報システムコース)				0	9	7	
	創造技術システム工学専攻(建設システムコース)				2	11	7	
	創造技術システム工学専攻(応用化学コース)				0	9	7	
(備考) 創造技術工学科は、H26年度から新設。 創造技術システム工学専攻はH31年度から新設。								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

高専 Web シラバス (阿南工業高等専門学校) https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicDepartments?school_id=38&lang=ja

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	阿南工業高等専門学校
設置者名	独立行政法人国立高等専門学校機構

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページにて公表 https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/upload-file%20folder/02_%E4%BA%BA%E4%BA%8B/kisoku/yakuin-20221016.pdf

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
常勤	熊本大学長	2016年4月 1日～2024 年3月31日	理事長
常勤	豊橋技術科学大学理事・ 副学長	2020年4月 1日～2024 年3月31日	国際交流・海外展開 情報システム
非常勤	東京大学教授	2022年4月 1日～2024 年3月31日	男女共同参画
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	阿南工業高等専門学校
設置者名	独立行政法人国立高等専門学校機構

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画(シラバス)作成に当たっては、12月初旬に、教員宛に入力依頼を実施している。</p> <p>同計画においては、次のものを記載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> a. 授業科目(科目番号)、担当教員、単位数、使用教科書 b. 到達目標、同ルーブリック c. 教育方法(概要、授業の進め方) d. 授業計画(週別概要) e. 成績評価(定期試験、小テスト、ポートフォリオ等の割合) <p>各教員は、1月末までに次年度シラバスをWebシラバスとして作成する。</p> <p>授業計画(シラバス)は、国立高専機構として一括管理され、その公開は当該年度4月1日に公開される。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>高専 Web シラバス</p> <p>https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicDepartments?school_id=38&lang=ja</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

(1) 学業成績

ほとんどの科目は、1年に4回の試験を行います（前学期のみ、または後学期のみ行われる科目は2回）。各試験終了後には、成績を算出し集計します。

各成績の点数は、試験成績や平常点から100点満点で出されます。多くの科目では次のように算出されます。

前学期の中間成績： 前学期中間試験の点数，前学期の平常点を総合した点数（ただし，平常点を算出できない場合は前学期中間試験の点数のみの場合もある）

前学期の期末総合成績： 前学期中間試験の点数，前学期末試験の点数，前学期の平常点を総合した点数

後学期の中間成績： 通年科目は，前学期中間試験・前学期末試験成績・後学期中間試験及び平常点を加味した点数（ただし，後学期開講科目について，平常点を算出できない場合は後学期中間試験の点数のみの場合もある）

学年末の総合成績： 前学期中間試験の点数，前学期末試験の点数，後学期中間試験の点数，後学期末試験の点数，年間の平常点を総合した点数

ここで、平常点とは

- ・授業時間中の小テスト成績

- ・レポート，製図，宿題などの提出物の提出状況や達成度などを基に算出された点数

なお、この成績の算出方法は、科目や授業担当教員により多少異なりますので、必ず「シラバス」を見て、不明な点があればその授業担当教員に聞いてください。なお、履修している授業科目の単位数を考慮し、「各授業科目の成績×単位数」の合計を「単位数」の合計で除した値により、席次（クラス順位）を決定します。

上記の成績のうち、学年末総合成績を「学業成績」と呼び、皆さんの進級・卒業・就職・進学などを決める時の最も重要なデータとなります。

(2) 単位認定

上記の学業成績が60点以上の科目は「合格」となり、「単位」の修得が認められます。ただし、当該科目の授業時間の2/3以上の出席が必要です。なお、4，5年次の学修単位（45時間学修単位）は、上記の規定に加えてその科目に定められた自学自習時間の2/3以上の時間のエビデンス（予習や復習の自学自習をしたことの証拠となる書類）が必要です。また、学修単位の講義科目で補講時間が含まれる場合は、補講時間の2/3以上の出席も必要です。

学業成績評価に関する規則第15条に基づき、卒業・進級判定会議の議を経て、校長が認定している。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

客観的な指標の算出方法は、「授業科目の成績×単位数」の合計を「単位数」の合計で除した値により算出する（100点満点で点数化）

【成績評価】

学業成績の評定は点数により、次の表のように定められています。

学業成績（100点満点）	評 定
100点 ～ 80点	優
79点 ～ 65点	良
64点 ～ 60点	可
59点以下	不可

客観的な指標の
算出方法の公表方法

阿南工業高等専門学校 情報公開 6. 学修の成果に関する情報

成績評価基準（本科・専攻科）

<https://www.anan-nct.ac.jp/about/information/>

客観的な指標の算出方法

<https://www.anan-nct.ac.jp/education/objectivepointer/>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

学則第 27 条及び学業成績評価に関する規則第 15 条に基づき、卒業・進級判定会議の議を経て、校長が認定している。また、下記要件については、学年の修了と卒業の認定指針として学生に周知している。

【本科】

(1) 学年の修了

各学年毎に、学年を修了して進級するための条件が定められている

- ① 年間欠席日数が出席すべき日数の 1 / 3 を超えないこと
- ② 最低修得単位数を満たしていること
- ③ 特別活動が合格であること
- ④ 必修科目を履修していること
- ⑤ 前学年の必修科目を全て修得していること

「忌引、学校感染症による出席停止」については、出席すべき日数から除外します。

その他の「学生の特別欠席に関する規則」に定める事由による場合、および学校からの要請による場合は特別欠席とし、欠席として扱いません。

【進級（卒業）要件

学 科	単 位	第 1 学年	第 2 学年	第 3 学年	第 4 学年	第 5 学 年
創造技術工学科	最低修得単位	25	58	90	126	167

(2) 卒業の認定

上記の (1) 学年の修了の条件に加えて、必修科目と卒業研究 (10 単位) との合格を含む 167 単位以上の修得と、さらに、その内訳として、一般科目 75 単位以上、専門科目 82 単位以上 (卒業研究を含む) の修得が必要です。これは高等専門学校設置基準で定められています。

【専攻科】

阿南工業高等専門学校専攻科の学業成績評価に関する規則で規定

第 21 条 次の各号を全て満たしている者については、原則として修了を認める。

- (1) 全ての必修科目の単位を修得している者
- (2) 本校学則第 36 条に規定するほか、一般科目については 8 単位以上、専門共通科目についてはインターンシップを除いて 30 単位以上、専門科目については 12 単位以上を修得している者
- (3) 学位取得のための次の基準を満たしている者。各専攻区分の専門科目 (以下この号において同じ。) 及び関連科目は、別に定める。
 - ・ 専門科目 (学修総まとめ科目を含む。) を 31 単位以上修得している者
 - ・ 専門科目 (学修総まとめ科目を含めない。) 及び関連科目で 40 単位以上を修得している者
- (4) 学位取得のための学修総まとめ科目履修計画書又は学修成果 (レポート) を学位授与機関へ提出している者
- (5) J A B E E 科目において、124 単位以上修得している者
- (6) J A B E E 科目のうち、次の科目群から 1 科目以上、合計 6 科目以上の単位を修得している者
 - ・ 設計・システム系科目群
 - ・ 情報・論理系科目群
 - ・ 材料・バイオ系科目群
 - ・ 力学系科目群
 - ・ 社会技術系科目群
- (7) (削除)

	<p>(8) 本校教育プログラムで規定した学習・教育到達目標と J A B E E 科目との関係 (配点ポイント数を含む。) について, 学習・教育到達目標 (D1), (D2), (E1) 及び (E2) における獲得ポイントが, それぞれ 20 ポイント以上である者</p> <p>(9) 特別研究の内容に関連する学外の学会等において, 研究成果を発表している者</p> <p>(10) 全ての学習・教育到達目標について, その目標が達成できている者</p>
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>阿南工業高等専門学校 情報公開 6. 学修の成果に関する情報 成績評価基準 (本科・専攻科)</p> <p>https://www.anan-nct.ac.jp/about/information/</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	阿南工業高等専門学校
設置者名	独立行政法人国立高等専門学校機構

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/resources/documents/zaimusyohyoR3.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/resources/documents/zaimusyohyoR3.pdf
財産目録	
事業報告書	https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/resources/information/R3jigyuhoukoku.pdf
監事による監査報告(書)	https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/resources/information/kansaR3.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:独立行政法人国立高等専門学校機構の年度計画 対象年度:令和5年度)
公表方法: https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/upload-file%20folder/01_%E7%B7%8F%E5%8B%99/r5-keikaku.pdf
中長期計画(名称:独立行政法人国立高等専門学校機構の中期計画 対象年度:平成31年(2019年)4月1日から令和6年(2024年)3月31日まで)
公表方法: https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/upload-file%20folder/01_%E7%B7%8F%E5%8B%99/4th-keikaku.pdf

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法:阿南工業高等専門学校HP(情報公開)自己点検・評価の公表状況 https://www.anan-net.ac.jp/about/information/
--

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:阿南工業高等専門学校HP(情報公開)自己点検・評価の公表状況 https://www.anan-net.ac.jp/about/information/
--

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 創造技術工学科
教育研究上の目的 (公表方法： https://www.anan-nct.ac.jp/about/information/zyungakusimokuteki/) (概要) 【学校の目的】 本校は、教育基本法の本質にのっとり、及び学校教育法に基づいて深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成することを目的とする。 【準学士課程の目的】 学科における教育目的は、次のとおりとする。 創造技術工学科は、社会人・職業人として必要な一般教養と国際化対応能力、工学分野のものづくりに共通して必要な基礎的知識・技術と情報処理能力、核となる分野に関する知識・技術と他分野の専門知識を教授し、様々な産業分野で幅広い課題について解決あるいは対応できる人材の育成を目的とする。各コースの核となる知識・技術とは次のとおりとする。 (1) 機械コースは、機械の力学、加工、材料及び制御に関する機械工学の知識と技術、機械システムの設計と製造で必要とされる実践的な知識と技術とする。 (2) 電気コースは、電気エネルギーから電子情報通信に及ぶ電気電子工学の知識と技術、電気・電子回路の設計・製作・解析で必要とされる実践的な知識と技術とする。 (3) 情報コースは、コンピュータを利用して制御を行うための計測・制御・情報工学の知識と技術、情報通信システムおよび制御システムの調査・分析・設計で必要とされる実践的な知識と技術とする。 (4) 建設コースは、環境や情報の分野を融合した建設工学の知識と技術、構造物の建設や環境保全で必要とされる実践的な知識と技術とする。 (5) 化学コースは、無機化学から有機化学に及ぶ材料や化学工学の知識と技術、材料開発、化学プラント開発、化学薬品製造で必要とされる実践的な知識と技術とする。
卒業の認定に関する方針 (公表方法： https://www.anan-nct.ac.jp/education/policies/) (概要) 【卒業要件】 準学士課程は、育成する技術者像を踏まえた学修成果を達成した上、学則に定めた所定の要件を満たした者に卒業を認定する。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法： https://www.anan-nct.ac.jp/education/policies/) (概要) ディプロマ・ポリシーに定めた目指す技術者像にもとづく学習目標を達成するために、一般教養科目群、専門共通科目群、専門科目群を編成します。 本科 2 課程の科目編成、学習内容、学習方法に関する方針 1 一般教養科目群 ものづくりに共通した基礎的知識や能力を養成するため、講義や演習を主とした学習方法により、自然科学(数学、物理、化学など)や人文科学(英語、日本語、社会など)に関わる科目を設けます。あわせて、これらの科目では普遍的な能力や分野横断的能力

<p>を養成します。</p> <p>2 専門共通科目群 全コースに共通する専門的能力を養成するため、演習や実習を主とした学習方法により、情報に関わる科目や工学基礎(デザイン, ものづくり)に関わる科目を設けます。あわせて、これらの科目では専門分野を横断する能力を養成します。</p> <p>3 専門科目群 コース毎の専門的能力を養成するため、講義や演習に加えて実習、実験、研究を含む学習方法により、専門分野に関する知識・技術に関わる科目を編成します。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針 (公表方法：https://www.anan-nct.ac.jp/education/policies/)</p>
<p>(概要)</p> <p>入学者選抜の基本方針</p> <p>1 推薦による選抜 学校長が推薦する者で、将来エンジニアになりたいという意志が極めて強く、かつその適性を備えていると認められる者を選抜します。</p> <p>2 学力による選抜 本校の教育を受けるための基礎学力を有し、かつ将来エンジニアになりたいという意志を持つ者を選抜します。</p> <p>3 帰国生徒特別選抜 将来エンジニアになりたいという意志が極めて強く、かつその適性を備えていると認められる者を選抜します。</p> <p>4 編入学 本校の教育を受けるための基礎学力を有し、将来エンジニアになりたいという意志が極めて強く、かつその適性を備えていると認められる者を選抜します。</p>

<p>学部等名 創造技術システム工学専攻</p>
<p>教育研究上の目的 (公表方法：https://www.anan-nct.ac.jp/about/information/senkokamokuteki/)</p>
<p>(概要)</p> <p>【学校の目的】 本校は、教育基本法 の精神にのっとり、及び学校教育法に基づいて深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成することを目的とする。</p> <p>【専攻科課程の目的】 専攻科は、学科における教育の基礎の上に、更に高度な専門的知識と技術を教授し、その研究を指導することを目的とする。専攻科課程を通して、核となる分野に関する確固たる知識をベースとしてもち、その方法論・実践論を幅広い工学分野を対象として創造的に活用できる可能性をもった技術者の育成を図る。各コースの核となる専門的知識と技術は、次のとおりとする。</p> <p>(1) 機械システムコースは、機械工学に関する研究課題を解決するために必要な力学、材料、生産・加工、設計、熱流体、機械力学・制御などの知識と情報収集、整理、研究遂行のための専門的知識と技術とする。</p> <p>(2) 電気電子情報コースは、電気電子工学、情報工学に関する研究課題を解決するために必要な電気回路、デジタル回路、ロボット制御、計測、プログラミングなどの知識と情報収集、整理、研究遂行のための専門的知識と技術とする。</p> <p>(3) 建設システムコースは、土木工学に関する研究課題を解決するために必要な構造・材料、地盤・水工・環境、計画・防災などの知識と情報収集、整理、研究遂行のための専門的知識と技術とする。</p> <p>(4) 応用化学コースは、応用化学に関する研究課題を解決するために必要な物理化学、無機化学、有機化学、分析化学、生物化学、化学工学などの知識と情報収集、整理、</p>

研究遂行のための専門的知識と技術とする。
<p>卒業の認定に関する方針 (公表方法：https://www.anan-nct.ac.jp/about/information/)</p>
<p>(概要) 【修了要件】 専攻科課程は、上述した育成する技術者像を踏まえて必要な学修成果を身に付けた上、学則で定められた所定の要件を満たした者に修了を認定する。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：https://www.anan-nct.ac.jp/about/information/)</p>
<p>(概要) 1. カリキュラムの設計方針 ディプロマ・ポリシーに掲げる能力を養成するために、専攻科のカリキュラムは次のような方針に基づいて編成しています。</p> <p>(1) 国際人としての教養と社会・自然への責任感および倫理観を養成するため、共通必修科目として「英語コミュニケーション」、「英語講読」、「技術者倫理」、「比較文化論」、「環境政策論」等の科目を設けます。</p> <p>(2) 数学・自然科学・情報技術を利用しながら技術課題を解決できる能力を養成するため、「線形代数学」、「解析学」、「情報処理演習」等の科目を設けます。</p> <p>(3) 社会が要求している問題を見出し、かつ幅広いコミュニケーション能力を養成するため、1年次に長期のインターンシップ期間を設けます。また、学協会等での発表を課すことにより、その準備プロセスも含めて論理的な記述・討論や口頭発表の能力を養成します。</p> <p>(4) 継続して専門技術や知識を学習する習慣、及び自律的かつ柔軟な課題解決能力を養成するため、「特別研究」を設けます。さらにチームで複合的な技術開発を進められる能力を養成するため、専門分野の異なる学生と共同で課題解決を行う「創造工学演習」を設けます。</p> <p>(5) ものづくりを重視し、必要なデザイン能力を身に付けるため、各コースの専門に応じた実験科目を設けます。</p> <p>(6) 幅広い分野の知識を取得し、先端技術情報を知るため、「創造設計工学演習（副専攻演習）」と「創造工学セミナー」を設けます。</p> <p>2. 学習方法・学習内容に関する方針</p> <p>(1) 人文科学，社会科学系科目群 講義を主とした学習方法により、人文科学に関わる「英語コミュニケーション」、「英語講読」、「比較文化論」、「技術者倫理」等の科目や社会科学に関わる「環境政策論」等の科目を編成します。これらの科目の学習を通して、技術者として必要な教養や責任感などを養成します。</p> <p>(2) 数学・自然科学・情報技術科目群 講義や演習を主とした学習方法により、「線形代数学」、「解析学」等の数学科目、「統計熱力学」、「物理学特論」等の自然科学に関わる科目、及び「シミュレーション工学」等の情報技術科学に関わる科目を編成します。これらの科目の学習により、専門分野を学ぶ上で必要な基礎的知識を養成します。</p> <p>(3) 専門分野群 講義を主とした「流体の力学」、「電子デバイス工学」、「応用構造力学」、「有機合成化学」等の科目、演習を主とした「創造設計工学演習（副専攻演習）」、「創造工学演習」等の科目、実験を主とした「機械システム工学実験」、「電気電子情報工学実験」、「建設システム工学実験」及び「応用化学実験」、実習・研究を主とした「インターンシップ」及び「創造技術システム工学特別研究」で編成します。これ</p>

らの科目の学習を通して、技術者として必要な知識・技術を養成します。

入学者の受入れに関する方針

(公表方法：<https://www.anan-nct.ac.jp/about/information/>)

(概要)

1. 求める人物像

専攻科は、専門分野における確固たる知識を基盤に、幅広い工学分野において、その知識を創造的かつ実践的に活用できる可能性をもつエンジニアの養成します。そのために必要な、次のような素養を持つ人物を求めます。

- (a) 国際人としての教養
- (b) 社会・自然への責任感と倫理観
- (c) 知識・技能を身に付け、問題を発見・解決する能力
- (d) 幅広いコミュニケーション能力
- (e) 主体性を持って多様な人々と協働して学習する能力
- (f) 「ものづくり」につながる創造的思考力

2. 入学者選抜の基本方針

(1) 推薦による選抜

・高等専門学校在学中に優秀な成績を修め、かつ、国際人としての教養があるとして学校長が推薦する者で、自分の専門分野への関心と明確な目的意識を持つ者を選抜します。

(2) 学力による選抜

・数学、英語に関する基礎学力の上に、自分の専門分野の基礎的知識と学習能力を持つ者を選抜します。

(3) AOによる選抜

・国際人としての教養と基礎学力があり、自分の専門分野への強い関心と学習意欲、表現力、コミュニケーション能力を持つ者を選抜します。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<https://www.anan-nct.ac.jp/about/information/>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	3人	—					3人
創造技術工学科 （創造技術システム工 学専攻含む）	—	21人	20人	10人	6人	人	57人
	—	人	人	人	人	人	人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
人		21人					21人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）	公表方法：国立高専研究情報ポータル https://research.kosen-k.go.jp/researcher-list/?page=1&limit=30&districtId=07&affiliationId=6672000000						
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
創造技術工学科	160人	162人	101.3%	800人	805人	100.6%	若干人	9人
合計	160人	162人	101.3%	800人	805人	100.6%	若干人	9人
創造技術システム工学専攻	16人	20人	125.0%	32人	38人	118.8%	若干人	0人
合計	16人	20人	125.0%	32人	38人	118.8%	若干人	0人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
創造技術工学科	152人 (100%)	46人 (30.3%)	104人 (68.4%)	2人 (1.3%)
合計	152人 (100%)	46人 (30.3%)	104人 (68.4%)	2人 (1.3%)
創造技術システム工学専攻	17人 (100%)	2人 (11.8%)	15人 (88.2%)	0人 (0%)
合計	17人 (100%)	2人 (11.8%)	15人 (88.2%)	0人 (0%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				

(備考)

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>授業計画（シラバス）作成に当たっては、12月初旬に、教員宛に入力依頼を実施している。</p> <p>同計画においては、次のものを記載している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 授業科目（科目番号）、担当教員、単位数、使用教科書 到達目標、同ルーブリック 教育方法（概要、授業の進め方） 授業計画（週別概要） 成績評価（定期試験、小テスト、ポートフォリオ等の割合） <p>各教員は、1月末までに次年度シラバスをWebシラバスとして作成する。</p> <p>授業計画（シラバス）は、国立高専機構として一括管理され、その公開は当該年度4月1日に公開される。</p>
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>【単位認定】</p> <p>学業成績が60点以上の科目は「合格」となり、「単位」の修得が認められます。ただし、当該科目の授業時間の2/3以上の出席が必要です。なお、4、5年次の学修単位（45時間学修単位）は、上記の規定に加えてその科目に定められた自学自習時間の2/3以上の時間のエビデンス（予習や復習の自学自習をしたことの証拠となる書類）が必要です。また、学修単位の講義科目で補講時間が含まれる場合は、補講時間の2/3以上の出席も必要です。</p> <p>【成績評価】</p> <p>学業成績の評定は点数により、次の表のように定められています。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>学業成績（100点満点）</th> <th>評定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100点～80点</td> <td>優</td> </tr> <tr> <td>79点～65点</td> <td>良</td> </tr> <tr> <td>64点～60点</td> <td>可</td> </tr> <tr> <td>59点以下</td> <td>不可</td> </tr> </tbody> </table>	学業成績（100点満点）	評定	100点～80点	優	79点～65点	良	64点～60点	可	59点以下	不可
学業成績（100点満点）	評定									
100点～80点	優									
79点～65点	良									
64点～60点	可									
59点以下	不可									

【本科】**(1) 学年の修了**

各学年毎に、学年を修了して進級するための条件が定められている

- ① 年間欠席日数が出席すべき日数の1/3を超えないこと
- ② 最低修得単位数を満たしていること
- ③ 特別活動が合格であること
- ④ 必修科目を履修していること
- ⑤ 前学年の必修科目を全て修得していること

「忌引、学校感染症による出席停止」については、出席すべき日数から除外します。その他の「学生の特別欠席に関する規則」に定める事由による場合、および学校からの要請による場合は特別欠席とし、欠席として扱いません。

【進級（卒業）要件】

学 科	単 位	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年
創造技術工学科	最低修得単位	25	58	90	126	167

(2) 卒業の認定

上記の(1)学年の修了の条件に加えて、必修科目と卒業研究(10単位)との合格を含む167単位以上の修得と、さらに、その内訳として、一般科目75単位以上、専門科目82単位以上(卒業研究を含む)の修得が必要です。これは高等専門学校設置基準で定められています。

【専攻科】

阿南工業高等専門学校専攻科の学業成績評価に関する規則で規定

第21条 次の各号を全て満たしている者については、原則として修了を認める。

- (1) 全ての必修科目の単位を修得している者
- (2) 本校学則第36条に規定するほか、一般科目については8単位以上、専門共通科目についてはインターンシップを除いて30単位以上、専門科目については12単位以上を修得している者
- (3) 学位取得のための次の基準を満たしている者。各専攻区分の専門科目（以下この号において同じ。）及び関連科目は、別に定める。
 - ・ 専門科目（学修総まとめ科目を含む。）を31単位以上修得している者
 - ・ 専門科目（学修総まとめ科目を含めない。）及び関連科目で40単位以上を修得している者
- (4) 学位取得のための学修総まとめ科目履修計画書又は学修成果（レポート）を学位授与機関へ提出している者
- (5) J A B E E科目において、124単位以上修得している者
- (6) J A B E E科目のうち、次の科目群から1科目以上、合計6科目以上の単位を修得している者
 - ・ 設計・システム系科目群
 - ・ 情報・論理系科目群
 - ・ 材料・バイオ系科目群
 - ・ 力学系科目群
 - ・ 社会技術系科目群
- (7) （削除）
- (8) 本校教育プログラムで規定した学習・教育到達目標とJ A B E E科目との関係（配点ポイント数を含む。）について、学習・教育到達目標(D1), (D2), (E1)及び(E2)における獲得ポイントが、それぞれ20ポイント以上である者
- (9) 特別研究の内容に関連する学外の学会等において、研究成果を発表している者
- (10) 全ての学習・教育到達目標について、その目標が達成できている者

情報公開 6. 学修の成果に関する情報				
成績評価基準（本科・専攻科） 進級認定基準（本科・専攻科） 卒業・修了認定基準（本科・専攻科） 取得可能な称号				
https://www.anan-nct.ac.jp/about/information/				
学部名	学科名	卒業に必要な単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
	創造技術工学科	167 単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
	創造技術システム 工学専攻	62 単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
GPAの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：阿南工業高等専門学校HP 7 学習環境に関する情報
<https://www.anan-nct.ac.jp/about/information/>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
	創造技術 工学科	234,600 円	84,600 円	172,830 円～ 257,992 円	(内訳) 災害共済給付制度保護者負担分 1,550 円 学生会入会費 2,000 円 学生会費 5,500 円 後援会入会金 10,000 円 後援会費 12,000 円 後援会体育大会援助費 10,300 円 学生支援経費 9,900 円 GTEC 受検料 3,380 円 教科書代 35,720 円 教材 8,600 円 写真代 700 円 体育館シューズ 2,400 円 実習服 8,600 円～8,770 円 体操服 14,000 円 制服 48,180 円～50,072 円 寄宿舎料 8,400 円～9,600 円 (寮生のみ) 寮生交流事業費 1,500 円 (寮 生のみ) 生活環境補助事業費 72,000 円 (寮生のみ)
		円	円	円	
	創造技術 システム 工学専攻	234,600 円	84,600 円	29,770 円～ 149,990 円	(内訳) 災害共済給付制度保護者負担分 1,550 円 学生会入会費 0 円～2,000 円 (阿南高専出身者免除) 学生会費 5,500 円 後援会入会金 0 円～10,000 円 (阿南高専出身者免除) 後援会費 12,000 円 教科書代 10,720 円～16,770 円 (必修) 教科書代 0 円～19,070 円 (選 択) 寄宿舎料 8,400 円～9,600 円 (寮生のみ) 寮生交流事業費 1,500 円 (寮 生のみ) 生活環境補助事業費 54,000 円 (寮生のみ)
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組

(概要)

修学支援および進路選択支援のため、全学年に担任教員を配置し、加えて1年生から3年生を対象に定期的な懇談を行うなど、修学状況に応じた助言を行い、学生からの相談に応じています。

すべての新生（編入学生、社会人学生、障害のある学生を含む）に対して全体的もしくは個別のガイダンスを実施し、留学生には個別の学生チューターを配しています。

学習に関わる補習として、希望者を対象とする数学のアドバンスド補習、学習定着のためのクラスあるいは個別の補習を実施しています。

[\(https://www.anan-nct.ac.jp/about/information/\)](https://www.anan-nct.ac.jp/about/information/)

【令和5年度 修学支援新制度（授業料等減免・給付型奨学金）の案内概要】

3年生及びその保護者を対象に、高等教育の修学支援新制度（授業料等減免・給付型奨学金）予約採用の募集案内を行っている。

案内概要

令和2年4月より、大学相当の学年（高専の場合は4・5年生、専攻科生）を対象として、高等教育の修学支援新制度（以下、新制度という。）が実施されています。

新制度の支援対象になれば、「授業料等減免」と「給付型奨学金」の両方を受けることができます。

支援対象になるには、日本学生支援機構へ「給付型奨学金」を申請し、採用される必要があります。

このたび、新制度の令和5年度予約採用者を下記のとおり募集いたします。希望する場合は、申請書類を配付しますので、学生係までご連絡ください。

なお、高等学校等就学支援金の対象は3年生までのため、令和6年度より、年額234,600円の授業料が発生します。授業料減免を希望する場合は、必ず今回の予約採用にお申し込みください。

1. 対象学年 現在3年生の者
2. 給付期間 令和6年4月から修業年限終期まで（成績・家計基準により支給が打ち切られる場合あり）
3. 制度の概要

文部科学省 HP をご参照ください。

学びたい気持ちを応援します 高等教育の修学支援新制度：文部科学省（mext.go.jp）

4. 【学力基準】 次のいずれかを満たすこと

① 評定平均値が 3.5 以上か、これに準ずる成績（概ね平均水準以上）であること

② 学修計画書により、学修の意欲や目的、将来の人生設計等が確認できること

5. 【家計基準】 どちらも満たすこと

① 学生本人と生計維持者の市町村民税所得割額（合計）が非課税もしくは非課税に準ずる世帯

② 申込者本人と生計維持者（2人）の資産額合計が2,000万円未満（生計維持者が1人の場合は1,250万円未満）

家計基準を満たすかどうかは「進学資金シミュレーター」にて大まかに調べることができますのでご活用ください。

<参考> 日本学生支援機構 進学資金シミュレーター

(URL <https://www.jasso.go.jp/shogakukin/oyakudachi/shogakukin-simulator.html>)

b. 進路選択に係る支援に関する取組

(概要)

阿南高専のキャリア支援室は平成 18(2006)年の 10 月に阿南高専におけるキャリア支援の中核をなす組織として発足しました。各コースから①キャリア教育担当教員(インターンシップ担当兼任)、②コーオプ教育担当教員、③就職担当教員、④進学担当教員が選任されて、適宜学生の進路に関する情報を共有し、企業・団体や大学等との窓口を担っております。

キャリア支援室の主な業務は次の 3 つです。

①キャリア教育プログラム(ACE)を推進し、インターンシップや各種セミナーを通じて学生の職業観を養成する。

②ものづくりエリート養成コーオプ教育プロジェクトに参加できる体制を維持する。

③進学希望者への情報提供や特進セミナーなどの支援を強化する。

1. キャリア教育・インターンシップ・就職支援

1-1 キャリア教育

阿南高専キャリア教育プログラム(ACE)を実践中です。

1-2 インターンシップ(本科・専攻科)

たくさんの企業・団体のご支援で 20 年以上の実績があります。

1-3 就職支援

OB・OG 講話や企業研究セミナーを開催しています。

2. コーオプ教育

ものづくりエリート養成コーオプ教育プロジェクト

阿南高専のコーオプ教育プロジェクトでは主に 3 年生と 4 年生を長期休み(夏休みおよび冬休み)の期間に就業(企業から給与を受給)し、企業内における様々な問題に対応できる力を養成するものです。北米の大学で行われているコーオプ教育を参考にして、本校の実情に合わせた形で発展させた形を取りながら、学生が企業と学校で交互に学びながら成長する手助けをしております。教育界からの評価も高く、プロジェクト修了生は自信をもって世の中に出られると好評です。

主な特徴として次のようなことが挙げられます。①ミスマッチを減らすための説明会や事前面談の実施。②学年進行に合わせた難易度の設定。③担当教員による就業状況の視察や企業側担当者との面談。④成果発表会の実施と優秀者への表彰。する。

3. 進学支援

本科卒業生の約 3 割が国公立大学や本校の専攻科を中心に進学・編入学をしています。大学への編入学制度はそれぞれの大学が認めた正規のルートではありますが、大学受験を経由しないために、余裕のある高専生活を送りながら大学へ進むことができます。また専攻科生は卒業後に大学院に進学することができます。卒業生のほとんど 100%が就職・進学を成就していることから、卒業生が企業や大学で高い評価を得ている証拠のひとつであると自負しています。

[\(https://www.anan-nct.ac.jp/facility/career/\)](https://www.anan-nct.ac.jp/facility/career/)

[\(https://www.anan-nct.ac.jp/facility/career/career/\)](https://www.anan-nct.ac.jp/facility/career/career/)

【就職・進学情報】

- ・令和 4 年度卒業生の就職・進学先の状況

<https://www.anan-nct.ac.jp/wp-content/uploads/2023/04/R4sinro2.pdf>

- ・過去の進路先

<https://www.anan-nct.ac.jp/wp-content/uploads/2023/04/R4sinro.pdf>

【連絡】学生には全学向け教育支援システム(manaba)にて情報提供

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

(概要)

1. 学生相談室

学校生活で生じる様々な悩みや心配事の相談に応じている。

相談内容の秘密は厳守。

学生に関することであれば、保護者の利用も可能。

学校カウンセラーを在室（特定時間帯）

(<https://www.anan-nct.ac.jp/facility/counseling/>)

2. 障害者支援

障害のある学生が、充実した学校生活を送るために学習環境や施設の設備を整備。

自動ドア，多目的トイレ（男女兼用），身障者用駐車場，屋外入口スロープ，エレベーター，歩行器，車いす用の机を用意するなど，学内のバリアフリー化を推進。

また，入学後の支援として，ご要望に応じ「合理的配慮」を行い，具体的な配慮内容は個別面談で相談の上で決定。

(<https://www.anan-nct.ac.jp/about/information/shogaisya/>)

3. 留学生支援

阿南高専グローバル推進室が Facebook で留学生支援のために開設，運営を実施

(<https://www.facebook.com/InternationalOfficeAnanCollege/>)

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：阿南工業高等専門学校HP

<https://www.anan-nct.ac.jp/about/information/>